

## 第8回認知症の支援に関する意見交換会

### 『地域包括支援センターに寄せられた相談』

発表者：那覇市地域包括支援センター小椋 認知症地域支援推進員 金城 徳 氏

### 『認知症の人の運転と車の取扱いについて』

講 師：嬉野が丘サマリヤ人病院 認知症疾患医療センター 国吉 直美 氏

コメンテーター：沖縄県警察運転免許センター 石川 光司 氏、新垣 勝也 氏

○日 時：令和7年11月4日（火） 午後7時00分～9時00分

○場 所：那覇市医師会・4階ホール

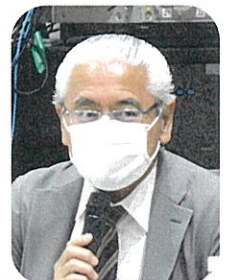
○参加者：55名

認知症サポート医・認知症専門医：5名、その他医師：2名、歯科医師：1名、  
医療従事者：20名（看護師、准看護師、医療ソーシャルワーカー、精神保健福祉士、薬剤師、作業療法士）  
地域包括支援センター15名（うち那覇市認知症地域支援推進員：10名）、  
介護支援専門員：5名、行政：5名、コメンテーター：2名

【目的】早期からシームレスな連携が取れる認知症支援網の構築を図る

【対象】認知症サポート医、認知症専門医、認知症地域支援推進員、  
認知症疾患医療センター、認知症の支援に関心のある医師、  
介護支援専門員など

【司会】  
在宅医療担当理事  
上間 一 氏



サマリー 参加アンケート回収率は約88.8%であった。今回、沖縄県警察運転免許センターの方を  
コメンテーターとしてお招きしたこともあり、医師以外の医療従事者の参加も多く見られた。

参加者より、「事例を通して、返納までの経過や本人の思いを考えた診断告知や声掛け、家族への協力  
について学べた」などの感想が寄せられた。また、グループワークを①同職種間での情報共有、②多職  
種で支援チームとなったうえでの今後の展開などについて実施したことで「同職種で自分の考えが整理  
でき、その後多職種との意見交換を行なえたことで新たな発見につながった」という声も寄せられた。

今後の要望として、専門職だけでなく企業や地域ボランティア、民生委員との交流について希望の声  
が寄せられ、今後、行政との役割を確認しながら連携し、当意見交換会を継続していきたい。



【事例発表】  
那覇市地域包括支援センター小椋  
金城 徳 氏



嬉野が丘サマリヤ人病院  
認知症疾患医療センター  
国吉 直美 氏



【コメンテーター】  
沖縄県警察運転免許センター  
新垣 勝也 氏



【コメンテーター】  
沖縄県警察運転免許センター  
石川 光司 氏



グループワーク



令和7年11月4日（火） 19:00～21:00 那覇市医師会・4階ホール

## テーマ：認知症の人の運転と車の取扱いについて

### 【事例発表】『地域包括支援センターに寄せられた相談』

那覇市地域包括支援センター小禄 金城 徳氏

### 【講話】『認知症の人の運転と車の取扱いについて』

嬉野が丘サマリヤ人病院 認知症疾患医療センター  
センター長 国吉 直美氏

【コメンテーター】 沖縄県警察本部 交通部 運転免許課  
石川 光司氏 新垣 勝也氏

参加者：55名 ≪ 認知症サポート医・認知症専門医：5名、その他医師：2名、歯科医師：1名、  
医療従事者：20名（看護師、准看護師、医療ソーシャルワーカー、精神保健福祉士、薬剤師、作業療法士）  
地域包括支援センター：15名（うち那覇市認知症地域支援推進員：10名）、  
介護支援専門員：5名、行政：5名、コメンテーター：2名 ≫

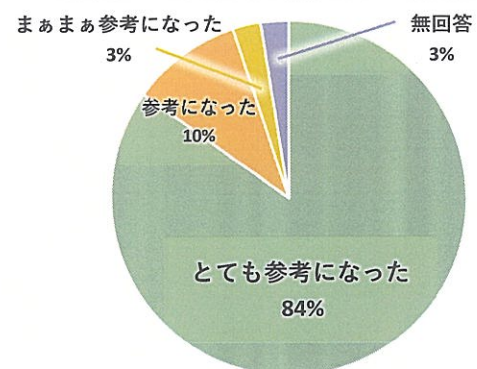
アンケート回答者：40名（回収率：88.8%） \*グループワーク参加者：45名

### 1. 職種について（複数回答可）

| 経験年数            | 人数 | 割合   |  |
|-----------------|----|------|--|
| 認知症サポート医／認知症専門医 | 2  | 5%   |  |
| その他医師           | 2  | 5%   |  |
| 歯科医師            | 1  | 3%   |  |
| 医療従事者           | 12 | 30%  |  |
| 認知症地域支援推進員      | 9  | 23%  |  |
| 介護支援専門員         | 6  | 15%  |  |
| 包括支援センター職員、行政   | 4  | 10%  |  |
| その他（職種不明）       | 4  | 10%  |  |
| 総計              | 40 | 100% |  |

### 2. 講話（嬉野が丘サマリヤ人病院：国吉 直美氏）は参考になりましたか。

| 選択肢        | 人数 | 割合   |
|------------|----|------|
| とても参考になった  | 34 | 84%  |
| 参考になった     | 4  | 10%  |
| まあまあ参考になった | 1  | 3%   |
| あまり参考にならない | 0  | 0%   |
| 無回答        | 1  | 3%   |
| 総計         | 40 | 100% |



#### <医師・歯科医師>

- ・認知症の人の運転免許の考え方について理解できた。
- ・知らないことが多く勉強になりました。
- ・公安委員会の方の話が参考になった。

#### <医療従事者>

- ・事例を通してとても分かりやすかった。
- ・生活の部分に着目することについての大切さを改めて感じた。
- ・事例や細かい説明（法律、臨床的認知症尺度：CDRなど）をして頂き、理解が深まった。
- ・認知症の方の運転を、実際の事例を通してどのように返納していくのか、本人の想いを考えた診断告知と声掛け、返納のための家族への協力について聞けて、とても良かったです。
- ・認知症と診断された方へ、どのような対応にて免許返納していくかの参考となった。
- ・道路交通法の事から事例まで提示して下さり、とても参考になりました。
- ・自主返納のメリットは調べてみようと思いました。
- ・他職種の方々とお話や意見交換ができて良かった。
- ・専門医のお話を聞けて参考になった。
- ・先生のご苦労されていることを知れた。今後もフォローし、認知症について学んでいきたい。

#### <認知症地域支援推進員>

- ・先生が診断と共に、こんなに丁寧に返納について説明してくれているのはありがたいと感じました。ぜひ、多くの医師がそういった本人・家族支援を行なってほしい。
- ・免許センターの方のコメントも含め、今後の支援に活かしていきたいです。
- ・基本的な説明から事例の話もあり、事例に対しての先生の対応を教えて頂き、とても勉強になりました。

#### <介護支援専門員>

- ・運転免許の返納について知れた。
- ・改正道路交通法や、診断書など、初めて知ることができたので、とても勉強になりました。

#### <包括支援センター職員、行政>

- ・認知症の人の運転について多くの事例があり参考になりました。
- ・孫からの勧め、説明で返納する事例が参考になった。
- ・お金（保険料・車検代）の話をするとう返納する方もいる。
- ・病院の事例も聞けて良かったです。
- ・私自身、本テーマの知識が薄かったので、大変勉強になった。運転免許についての警察での取り扱いや相談対応の流れ、事例を聞けてイメージが付きしました。相談窓口といっても、どんなことができるのか、知っておかないと実際に連携ができないため。
- ・地域の相談窓口として行政・包括の職員はしっかり知識として正しい知識を伝える必要があると感じた。
- ・認知症の診断有無にかかわらず、地域の高齢者の方が集まる場でACPのように免許を返納したらどうするか等、気軽に早めに話題に出し、考えてもらうきっかけづくりも必要だと感じた。

#### <その他（職種不明）>

- ・医師は一定の病気等に該当する場合、公安委員会に届け出ることができることを初めて知った。
- ・本人の思い、家族へのサポート支援について

### 3. グループワーク（①同職種間での運転免許関連について情報共有、②多職種で支援チームとなり今後の展開について考える）はいかがでしたか。

#### <医師・歯科医師>

- ・グループワーク①②それぞれ有意義であった。
- ・普段意見交換することのない方々とお話しが出来て良かったです。

- ・色々な方の意見が聞けて良かったです。
- ・各職種で抱える問題について理解を深めることができました。

#### <医療従事者>

- ・具体的な事例を通して、すごく難しい問題であるが故、すごく参考になる対応が聞けて良かったです。
- ・同じテーマでパート2があっても良い！！
- ・運転対応について他職種の方の意見はとても良かった。
- ・グループワーク①は、同じような視点で大変さを共有し合える機会となった。
- ・グループワーク②は、様々な機関で働いている人たちから話を聞けて、違う視点の意見を聞くことができ、今まで見えていなかった部分を学ぶことができた。
- ・グループワークの前に質問の時間が欲しかった。
- ・講義後、検討事項（ディスカッションのテーマ）が出されたが、事例を思い出す余裕がなかった。時間が短いため、先にテーマを出してもらえらるともっとスムーズにできた。
- ・ファシリテーターに「進行と記録を決めて」と言われたが、時間が短いためファシリテーターが進行に入ってくれとやりやすい。
- ・グループワーク①では、同職種ということもあり、支援のどの場面でどのように促しているのかを共有することができ、良かった。
- ・グループワーク②では、実際にかかりつけ医としてどのように促すのか、MCIでの支援がどこまでできるのか、地域と医療の両側面で課題をとらえることができたと思います。
- ・色々な話が聞けて良かった。
- ・同職種・多職種のメンバーでグループワークをし、色々な視点での意見が聞けて参考になった。
- ・専門医と一般急性期医とでは、診断書に対する気持ちに差がある事も気づいた。色々な職種やしらみがある中で、MSWとしてできることを探したいと思います。
- ・グループワーク②では、具体的な内容が聞けてとても勉強になりました。今後仕事に活かそうです。貴重な意見ありがとうございました。

#### <認知症地域支援推進員>

- ・いろいろな話が聞けて、充実したグループワークでした。
- ・グループワーク①②とも情報共有ができて参考になった。
- ・免許返納以外の課題のアプローチ方法などアドバイスをいただいた。
- ・同職種で自分の考えが整理しやすく、そこから多職種で意見交換して新たな発見ができると感じました。
- ・MCIが免許返納を考えることができる貴重な時間だという考え方に驚きました。今後の早期対応に活かすことができると思います。
- ・各事業所での事例の話しがあり、勉強になりました。

#### <介護支援専門員>

- ・いろいろな視点で話を聞けて、考える幅が広がった。
- ・いろいろなケースがあり、勉強になりました。
- ・同じように悩む人が多いことを感じた。

#### <包括支援センター職員、行政>

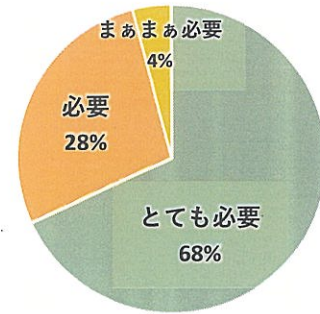
- ・認知症の人の運転について、医師として、相談員として、包括として、と様々な立場の方の対応・支援が確認できたこと、情報共有できたことが良かったです。
- ・グループワーク②では、認知症疾患医療センターでの事例などを聞くことができた。
- ・視点の異なる意見を聞けて勉強になりました。

#### <その他（職種不明）>

- ・返納後の多職種との取り組みや、今後、行政を含めての懇親会も必要だと思う。

#### 4. 今後、このような意見交換会が必要だと感じますか。

| 選択肢    | 人数 | 割合   |
|--------|----|------|
| とても必要  | 27 | 68%  |
| 必要     | 11 | 28%  |
| まあまあ必要 | 2  | 4%   |
| 必要ではない | 0  | 0%   |
| 総計     | 40 | 100% |



##### <医師・歯科医師>

- ・かかりつけ医はもっと認知症と運転免許について知識を広げる必要がある。（私自身の反省もあわせて）
- ・初めて参加しました。必要性を感じました。

##### <医療従事者>

- ・日々業務の中で忘れがちな視点を再認識でき、自身のモチベーションアップにもつながる。
- ・頻回だと参加が難しいが、2～3か月に1回位のペースだと参加しやすい。
- ・ケースバイケースだが、公安の方の話は、とても重要なことが分かり、今後もこのような講話の場を作ってほしい。事例は参考になりました。

##### <認知症地域支援推進員>

- ・公安の方と直接意見交換ができることはとてもありがたいです。
- ・成功事例を聞く事ができて、とても心が温くなりました。
- ・多職種で話せる、認知症サポート医や認知症専門医の話が聞けるのはありがたい。
- ・他職種の考えを比較して、具体的に思い浮かばなかった対応策も想像が付きやすかったです。

##### <介護支援専門員>

- ・公安の方の話がとてもためになりました。

##### <包括支援センター職員、行政>

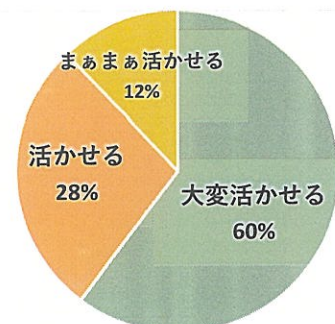
- ・普段、各職種の方々と一つのテーマで話す情報交換の機会が少ないので、とても良い機会だと思います。
- ・多職種・専門医からの報告、事例紹介は大変勉強になった。
- ・改めて考える時間になるので、今後も活用したいと思います。

##### <その他（職種不明）>

- ・受診するまでが大変で、受診後までのサポートも大切であるため、このような意見交換は必要だと思う。

#### 5. 明日からの業務に活かそうですか。

| 選択肢      | 人数 | 割合   |
|----------|----|------|
| 大変活かせる   | 24 | 60%  |
| 活かせる     | 11 | 28%  |
| まあまあ活かせる | 5  | 12%  |
| あまり活かさない | 0  | 0%   |
| 総計       | 40 | 100% |



#### <医師・歯科医師>

- ・本人のプライドを傷つけないように、自主返納に自然に結びつけるお孫さんの力を借りることはとても有効だと思った。
- ・認知症の方の免許・運転について勉強になりました。
- ・相談はメールの方が扱いやすいです。記録も残るので。

#### <医療従事者>

- ・免許返納後、それを忘れて運転すると話していたが、免許証と間違えるような運転経歴証明書は改善すべきと考えました。
- ・免許返納者は本人の権利を差し出したわけなので、称えるような表彰状等をあげるのはどうかと思いました。
- ・運転だけでなく生活に着目できるよう意識していく。
- ・専門的な話しがあり良かった。また、地域支援の方々の話しを参考に活用していきたい。

#### <認知症地域支援推進員>

- ・孫との協力体制を取り組んでみる。
- ・もっと地域生活についての検討が必要と思われます。社会資源の充実に向けての話し合いを重ねて、高齢者が住みやすい、免許返納をしても住みやすい環境を整えてほしいです。
- ・免許返納の相談は、免許センター、医療機関へ繋がれば安心と思っていましたが、役割の獲得や自信を喪失させないサポートをしたいと感じました。
- ・対応時の考え方として、重要なものを得ることができました。ありがとうございました。
- ・とても有意義な交換会でした。ありがとうございました。

#### <介護支援専門員>

- ・事業所に持ち帰り、皆に情報提供しようと思う。
- ・優遇制度、アナウンスしていきます。

#### <包括支援センター職員、行政>

- ・職員全体で共有します。
- ・直接の相談は少ないのですが、問題を整理する材料をたくさんいただきました。

#### <その他（職種不明）>

- ・家族へのサポートについて説明。負担をかけないようにしたい。

### 6. 今回の意見交換会全体を通してのご意見・ご感想、また「認知症の支援」に関する希望するテーマがありましたらお聞かせ下さい。

#### <医師・歯科医師>

- ・「若年性認知症」について聞きたい。
- ・認知症の家族を支える「家族会」について

#### <医療従事者>

- ・地域の独居高齢者が増え、高齢者の交通事故が増える中で、意見交換を通じて、支援の必要性を再認識できたと思います。
- ・入院している方への接し方や声掛けについて
- ・公安の方の話しもとても参考になりました。自宅訪問までして説得活動をしているという涙ぐましい努力も知ることができ、これまでより身近に感じる事ができた。
- ・行政にも参加してもらい、課題の共有をして欲しい。
- ・ボランティアや民生委員、協力者（支援者以外）にも参加してもらって、一緒にグループワークができると、さらに多角的な視点での意見が聞けるのではないかと感じます。
- ・今後は専門職だけでなく、一般企業や地域ボランティアとの関わりは必須だと思います。そういった方とも交流できる場があれば嬉しいです。

・免許センターの方の困難事例などを聞きたかった。後期高齢者の免許返納は、女性は納得して返納につながるが多いが、男性はなかなかスムーズにいかないケースが多い為、その人の周囲の方がサポートすることが必要大だと思う。

・今回、認知症の方の家族の同意を得て返納に繋がったことが知れて、とても良かった。参考になった。

・グループワーク②はとても勉強になりました。

#### <認知症地域支援推進員>

・孫がいる幸せな高齢者はごく一部、独居・身寄りなしの方もいるので気が重い…。

・身寄りがいない方の公共料金の支払いのコツ（引き落とし、納付書が届く）。滞りなく支払いができるようにする。

・診断後の支援、ぴあサポート。本人も参加できると良いと思います。

・医療機関と連携を取りながら、運転免許センターの職員さんも自宅訪問して下さるということで大変心強いです。

・初めて参加させていただき、とても勉強になりました。ありがとうございました。

#### <介護支援専門員>

・公安委員会より、対象者宅へアウトリーチしていただけることを知り、今後活用させていただきます。連携よろしくお願いします。

・認知症に関する医療相談フローが良く分らなかった。

#### <包括支援センター職員、行政>

・認知症の方が活躍できる場づくりについて、医療等の立場の方々とどう協力できるかのテーマで話し合ってみたいです。

#### <その他（職種不明）>

・生活支援の在り方、行政を巻き込むことが必要、転居の方もサポートできる体制づくり。

・公安委員会の方が参加して頂いたことが大変良かったです。またこのような会の開催をよろしくお願いします。

・MCIは貴重な時間という意見があって、大変参考になりました。